

## 普及活動情勢報告（令和4年4月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

### コストと労力に見合った増収を目指して ～JA高知県土佐市ピーマン部会現地検討会を開催～



4月7日、JA高知県土佐市ピーマン部会は高岡地区で現地検討会を開催し、生産者15人が参加しました。農業改良普及課は令和4年度環境制御技術高度化事業の変更内容や、採択にあたっての優先順位について説明し、導入希望者へ早めの申請を呼びかけました。

参加者は、ハウスに導入されている環境制御装置を見ながら、性能や取り扱いの注意点、価格等機種選定のポイントについて情報交換して、増収に向けた設備投資を検討していました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して、ピーマン産地の活性化とIoPの推進に向けて支援を行っていきます。

### ニラ栽培の第一歩！土作りと畝立て技術習得へ ～（公財）いの町農業公社新規栽培指導者への栽培研修（畝立て等）を実施～



4月4日、（公財）いの町農業公社の新規栽培指導者に4月中旬のニラ定植を前に、ほ場準備の研修会を行いました。農業改良普及課は、効率的なかん水パイプ設置方法等の説明を行い、篤農家が公社のほ場に合ったかん水パイプの設置や畝立てについて指導を行いました。

新規栽培指導者からは、「長い畝の場合、畝端は手前と同じように水が出るか。」等の質問が出ました。篤農家による指導の場を設けたことで、具体的な畝立てのコツやかん水パイプの設置方法を知ることができるなど、有意義な研修となりました。

農業改良普及課は、今後も篤農家と連携し栽培時期に合った技術の習得に向け支援していきます。

### 加工用ワサビが収穫間近！ ～吾北地域のワサビ栽培生産者を取引会社等と巡回調査～



4月8日、吾北地域の加工用ワサビの生育状況を把握し、出荷時期を検討するため、ワサビ取引会社、JA、農業改良普及課で生産者2人のほ場の巡回調査を行いました。

ほ場では定植の遅れから生育遅れが心配されましたが、取引会社からは、現在ワサビの生育適温期なのでまだ生長が見込めること等が説明されました。また、生産者からは土壌の高ECについて質問があり、農業改良普及課がその原因や対策を説明し、理解してもらうことができました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、加工用ワサビの収量、品質向上に向けて支援を行っていきます。